



2006
No.39

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

重点支援校として3年間の第一段階が終り、大きな成果があがりました。母校存続の目途もつき第二段階のスタートを切るにあたり、同窓会会長と校長先生に将来の展望について伺いました。

今後の同窓会に向けて

井草会 会長 遠矢良隆

2年ごとに開催される同窓会は、記念学年を中心に毎回多数の同窓生の参加があり、同窓会活動の大きな柱の1つになっています。懐かしい友人や恩師との再会は普段では味わえない楽しさや喜びを得ることができます。また、記念学年を招くことで、そこから新たにクラス会、同期会が生まれ、同窓生同士の交流が一層深まるなど、ここ数年同窓会活動は質量とも向上しつつあります。今後も隔年開催の同窓会をより魅力のあるものとし、さらに多数の会員の参加が得られるよう努力していきたいと考えています。



2つ目として、井草会ホームページの内容充実があります。現状は十分に有効活用できていない状況ですが、今後は井草会からの情報発信だけでなく、住所変更の連絡や同窓生同士の交流の手段などにも利用できるような体制を作りたいと思っています。あわせて広報活動の幅を広げ、会報、インターネットなどの一連の情報と連携・融合した活動をする必要もあると考えています。

最後に、母校支援の観点から学校、PTAとの連携を一層深めていきたいと思えます。特に会員の持っている知識や経験などを在校生や保護者に提供し、母校の発展に役立つような活動をしたいと思っています。

新しい役員のもと、力を合わせて今後の同窓会の活性化に繋がる活動をしていく所存です。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

将来に向けて

井草高校 校長 山下 貢

日頃は母校の教育活動にご支援いただき、誠に有難うございます。平成15年度に始まった重点支援校の第1期として、3年間教職員ともども努力を積み重ねてきました。



国際交流事業の推進と中堅進学校としての進路実績という目標については、予想以上の成果を達成することができました。これもひとえに同窓会の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

18年度以降は、更なる飛躍を求め、地に足をつけた指導を行っていきます。国際交流は、アメリカ西海岸ワシントン州ケント市の公立高校1校に絞り、互いにしっかりとしたプログラムの下に相互交流を目指します。そのための校内組織も整備され、組織的な取組みが可能となりました。

進学実績について更なる向上を目指すため、進路部では3年間を見通した系統的な指導を行うこととしました。各学年が年間進路指導計画とキャリアプランの中に外部模擬試験とスタディ・サポートを組み込み、学力管理をしっかりと行っていきます。

部活動・学校行事への取組みは、伝統校らしく8割の生徒が部活に参加し、行事にも生徒会を中心に自主自立の精神で取り組んでいます。

今後ともよろしく願い申し上げます。

目次

井草会／井草高校の将来に向けて	P. 1	同窓会・クラス会報告	P. 5・6
幹事総会報告	P. 2	井草会掲示板	P. 7
キャンパスニュース	P. 3・4	寄付者名簿、編集後記	P. 8
恩師からの便り	P. 4		

幹事総会報告

6月10日(土)母校視聴覚室で恒例の幹事総会が出席者23名(委任状285通)で開催されました。最初に遠矢会長から、学校側の協力により今年の卒業生は入金納入者が多かったこと、母校では今年も国際交流が行われ、6月25日から7月13日までアメリカからの生徒を迎え、同窓会ではお茶会を行う予定であること、PTA主催のバス見学会へ参加することなどが報告されました。また、新しい方向性として、各分野で活動している同窓会員がこれまでの経

験を生かして、在校生への進路指導や仕事の話を提供できるような体制をつくりたいという提案がありました。名誉会長である山下校長先生からは、井草高校は重点支援校として認められ15～17年度は同窓会の援助もあり、大学進学率が大きく向上したこと、国際交流も回を重ねアメリカの姉妹校とも良い関係が築かれていること、今年は事務室・職員室を含む本館が耐震強度不足で改築されることなど母校の近況をお話していただきました。最後に、活動方針、決算・予算が審議され、別表のような新年度役員・理事の選任が原案通り可決されました。

平成18・19年度井草会 役員

会 長	遠矢 良隆 6A	
事務局	◎山口 淳子 7E	大西 久江 5E
	谷 明 7D	新井 雅晴 13D(兼)
	安田 忠 21G(兼)	原田 美幸 24D
会 計	岡安 敏子 4F	村上 俊雄 25E
監 事	西田 実 17B	久米 浩一 26D
広 報	◎月岡 健一 17G	隆野 豊子 1
	覚田 純子 21G	
名簿・会費	◎新井 雅晴 13D	谷 恭子 2A
	渡辺 旭 2B	金沢美保子 3B
	平岩允理子 6C	山口 淳子 7E(兼)
	津江 慎弥 10E	西田 実 17B(兼)
	鈴木 善雄 20F	
会 報	◎植木 謙 21D	中村 公 3E
	西田 実 17B(兼)	中村 啓子 18E
	井上 晴夫 24D	
事 業	◎安田 忠 21G	瀬尾 行弘 8B
	吉村 弘文 8C	近藤 精孝 8D
	中西利一郎 8D	渡辺 正義 9C
	大草 和子 9D	木村 忠正 9D
	田村 治彦 10A	林 一雄 10C
	横沢 景彦 10D	丸山 隆 13D
	岡部 隆行 13E	原 京 14G
	熊谷 和子 15F	新井 健一 16B
	森井 出 17E	島田 俊明 20A
	陶山 洋子 21I	鎌形香代子 27F
	井手 房子 27G	

◎委員長



平成17年度決算報告・18年度予算

収 入 単位:円

項 目	H17年度予算	H17年度決算	H18年度予算
繰 越 金	1,887,840	1,887,840	1,630,030
入 会 金	675,160	675,160	1,079,160
会 費 収 入	3,300,000	3,228,870	3,300,000
寄 付 収 入	300,000	319,000	300,000
母 校 支 援 金 寄 付 収 入	500,000	151,000	—
雑 収 入	5,000	481,791	100,000
計	6,668,000	6,743,661	6,409,190

支 出

項 目	H17年度予算	H17年度決算	H18年度予算
会 報 委 員 会 費	2,400,000	2,238,466	2,400,000
会 報 通 信 費	1,250,000	1,175,201	1,250,000
会 報 発 送 代 行 費	200,000	140,913	150,000
会 報 等 印 刷 費	800,000	840,013	850,000
委 員 会 活 動 費	100,000	72,259	100,000
イ ン タ ー ネ ッ ト	50,000	10,080	50,000
名 簿 ・ 会 費 委 員 会 費	200,000	88,834	200,000
通 信 費	50,000	0	—
委 員 会 活 動 費	150,000	88,834	200,000
事 業 委 員 会 費	1,900,000	1,202,622	1,000,000
井 草 祭 参 加 費	150,000	97,517	150,000
ク ラ ス 会 援 助 費	800,000	648,830	700,000
委 員 会 活 動 費	150,000	83,000	100,000
ク ラ ブ 推 進 分 科 会 活 動 費	50,000	0	25,000
同 窓 会 開 催 分 科 会 活 動 費	750,000	373,275	25,000
広 報 委 員 会 費	400,000	266,639	400,000
事 務 担 当 費	120,000	88,586	120,000
予 算 及 び 決 算 担 当 費	30,000	20,875	30,000
理 事 会 ・ 委 員 会 ・ 幹 事 会 費	550,000	207,609	700,000
会 議 費	100,000	3,673	50,000
交 通 費	200,000	95,500	150,000
通 信 費	150,000	105,300	150,000
事 務 所 設 備 等	50,000	0	50,000
活 動 費	50,000	3,136	300,000
母 校 支 援 金	500,000	500,000	—
井 草 会 事 務 所 開 設 準 備 金	500,000	500,000	1,000,000
予 備 費	68,000	0	559,190
次 年 度 繰 越	—	1,630,030	—
計	6,668,000	6,743,661	6,409,190

平成18年3月31日現在財産目録

名簿積立金	700,000 (平成12～17年度分)
事務所開設準備金	13,000,000 (平成6～17年度分)

キャンパスニュース



井草クラブ活動めぐり

在校当時をなつかしく思い出していただければと思います、井草のキャンパスで生徒達が取り組んでいるクラブ活動の様子を紹介していきます。今号では吹奏楽部と書道部を取り上げました。吹奏楽部は、瀬戸宏先生と副部長の小川陽代さん(2年生)にお話を伺い、書道部は喜入裕子先生に紹介記事を書いていただきました。

吹奏楽部

井草高校吹奏楽部は、50年程前にでき、2000年には都高文連音楽部門の推薦で全国高等学校総合文化祭に出場することができました。現在、1、2年生の部員は男子2名、女子33名、計35名です。練習は勉強との両立に配慮しながら計画しています。放課後と休日練習は多いのですが、朝練や昼休みの練習はしていません。夏休みには合宿を行ないます。吹奏楽部に入ってくる生徒は勉強にもきちんと取り組む生徒が多く、ここ数年、部員同士の人間関係が概ねうまくいっているということもあり、退部者はほとんどいません。

難しいことの一つに、部員の楽器決めがあります。顧問自身、中学時代から吹奏楽をやっており、教員になってからもずっと吹奏楽の指導を続けているので、新入部員それぞれにどんな楽器が合うか大体的見当はつきますが、それが本人の希望と食い違うこともよくあります。最終的には本人、部長、パートリーダーとの相談で決まっていますが、吹奏楽はパート人数のバランスが重要なので苦労します。

各楽器の新入生の日常的な指導は上級生が行いますが、年2回程度、楽器別のコーチに来てもらって、基礎や練習方法をチェックしてもらいます。年間活動の最終目標は3月下旬の定期演奏会です。顧問として、自分で指揮をする曲はもちろん、生徒がタクトを振る曲でも演奏面でのアドバイスはしますが、運営については生徒の実行委員が中心になって行なって行きます。3年生は4月の新入生歓迎演奏会が終わるといったん引退し、後は1、2年生だけになります。一番のベテランが抜けて新人が入るのでレベルが大幅に変わります。3年生は進路が決まったら、また部活に戻ってきます。毎年この繰り返しで、苦労もありますが、また喜びもあるわけです。

自立経営予算ということで、古くなった大型楽器を買い換えるお金がないことと、耐震工事の関係で、来年の夏休みの間は練習場所が立ち入り禁止になってしまうのが悩みの種です。



書道部

井草高校書道部は、50年ほど前にできたようですが、活動を中断した時期があり、前任の吉岡先生が来られた20年ほど前からは継続



2005. 井草祭 中庭でのパフォーマンス

して活動しています。現在の部員は12名で、毎年11月の東京都高文連書道展（全国高等学校総合文化祭の予選で、約60校の参加があり、1、2年の部で7位以内に入賞すると全国大会出場となります。）に向けて練習しています。今年で30回を迎える全国大会に井草高校書道部は5年連続10回目の出場を決めています。2年前、私が来た時には、他の部と掛け持ちの生徒も多く、短期集中で作品を書いていましたが、今年の1、2年は個々の実力に合わせて、週2回、地道に活動しています。書道というと、どうしても地味なイメージが付きまといま。そこで昨年の文化祭では通常の展示以外に中庭で書道パフォーマンスを行ないました。一人ペニヤ板2枚分の紙に2文字の大字を書くところを発表しました。動的な書の表現もあることを少しでも判って頂けたかと思います。私はまだ2年目で手探り状態ですが、今後も引き続き、全国大会出場を目指し、生徒達と共に頑張ります。

2006年進路状況：合格者数

(既卒者、推薦入学者を含む)

国公立大 5名 東工大、横浜国大、東京農工大、茨城大、上越教育大 各1名
私立大学489名 東洋大33、日大27、法政大22、成蹊大20、武蔵大16、東京理科大13、中央大12、明治大11、早稲田大10、駒沢大9、青山学院大8、立教大7、学習院大5、明治学院大4、専修大4、日本女子大4、慶応大、上智大、東京女子大各1名 他



国際交流報告

平成17年からの国際交流は、アメリカ西海岸ワシントン州セントリッジ高校との相互交流となりました。

来日は7月8日～21日、引率教師を含み13名でした。留学生たちは、同窓会主催の茶道教室とPTA主催の皇居・浅草・江戸博物館等を巡る交流バス見学に参加しました。お土産として手作り手芸品とスナップ写真帳を贈りました。渡米は平成18年3月21日～4月3日で、セントリッジ高校の生徒たちとの交流を大切に胸に刻んだ16名が、無事に帰国しました。

平成18年の来日は6月30日～7月13日、17名でした。この来日の詳しい報告は次号に掲載する予定です。なお、9月に開催される井草祭で留学生徒たちの発表展示があります。井草祭にお出掛けの際は、ぜひご覧下さい。



H17.7.16 皇居二重橋 交流バス見学

〈広報委員会 隆野 豊子〉

恩師からの便り



往時茫昧

掛川 久先生 (昭39～44 国語科担当)

かつて伊藤整は、その小説『青春』の中で、「人の生涯の中で一番美しく一番真剣であるべき青春の季節は、おのずから最も生きるに難しい季節である。生命を失うか、真実を失うかせずに、そこを切り抜ける人間は少ないであろう」と書いている。

翻って私自身の70年近い人生を省みると、井草の「教員駆け出し時代」は最も甘美で、かつ忍苦を伴う青春の季節であった。

私が井草に職を得たのは、昭和39年4月から5ヵ年。日本が東京オリンピックに沸き返り、経済の高度成長期に向かう時代であった。その一方で、米ソの冷戦構造は深刻化し、ベトナム戦争も泥土にまみれていた。

こうした時流を超えて、井草生は「自主自律」の校風を高く掲げ、古きよき伝統を守っていた。日々の授業も活気に満ち、実に面白かった。

かく私の心に刻まれているはずの井草高校であるが、その実茫昧として記憶の底に沈んでいる。そこで過日、想いで的一片でもと思い立ち、上井草駅に降り立ってみた。町並みの変貌振りは当然としても、学校近辺も面影をすっかりと変えていて、昔を尋ねる縁はなかった。

往時茫然、しかし井草に生きた感覚だけは私の身に深く刻まれているのである。



温かい“井草の自由”

吉瀬 勲先生 (昭45～56 数学担当)

○赴任の緊張 私が赴任したのは、あの当時の高校紛争が下火になった頃でした。八重桜を見上げて校内に入ると、何か余蘊を気遣う雰囲気！T校長から「3年の学級担任を」との話！着任早々の身は緊張して、私の井草が始まりました。

このお陰で、井草高校は、正面から生徒と向き合った充実感に満ちた職場で、私が勤めた5校の中でも印象が身近です。

○井草牧場－職員室 当時の職員室には、「丑年」生まれの方が10人ぐらい居り、その冗句です。中でも、国語科のK先生は私と同じ生年月日！鹿児島縁も伺い、奇遇の井草でした。特に、同年の“丑”は戦中・戦後を共有してきただけに、立場の違いを越えて忌憚なく論じ合える信頼感がありました。

○井草の自由 生徒たちの前向きな自主活動は個人や部活など、相応の形で見られました。クラスでもありました。

それは卒業式の翌日でした。3年生の教室で何か物音の気配に階上へ上がると、目に入ったのは、廊下に机や椅子を運び出すトレパン姿の生徒たちでした。(何か?)との思いで教室に入ると、堅絞りの雑巾で床を磨くものや黒板を拭く者、窓ガラスを乾拭きする者、水運びや雑巾絞りの係りの動く姿でした。

1年間を過ごした自分たちの教室を、3年間の追憶を込めて大切に磨く心根に“井草っ子”を感じた嬉しい場でした。

○その後 井草の退職を機に現場から離れ、私学の理事や予備校を経て塾開設(数学・10年間)と歩き、現在は市内のボランティア活動に加わり、中学生を相手に元気を貰っています。

先生 往来

(平成18年4月1日付)

■ 転 出

教科科目	氏 名	異 動 先
地歴(日史)	塩貝進一	文京高校(嘱託)
"	福田元昭	小平高校
公民(政経)	平井啓一	保谷高校
数 学	大山武彦	田無工業高校
理科(化学)	小林 誠	小岩高校
理科(生物)	小林光明	南多摩高校
英 語	松澤郁文	三鷹高校
養 護	石原恵子	東村山西高校

■ 転 入

教科科目	氏 名	前 籍 校
地歴(日史)	荒井 剛	足立高校
公民(政経)	武藤 亮	田園調布高校
数 学	植竹完氏	東大和南高校
理科(化学)	笠原一郎	大泉高校
理科(生物)	大野智久	(新採用)
英 語	渡邊宏二	光丘高校
養 護	竜田昭子	(新採用)
地歴(世史)	小松公平	小平西高校

同窓会って何…
井草は私たちの心の故郷です

平成17年8月20日(土)
京王プラザホテルで
井草会同窓会が開催されました。

- 古稀を祝って、高校5、6回(昭28年、29年卒)
- 還暦を祝って、高校15、16回(昭38年、39年卒)
- 卒業30年を記念して、高校27、28回(昭50年、51年卒)
- 新入会員を歓迎して、高校56、57回(平16年、17年卒)



2005同窓会を祝し 高校吹奏楽部の熱演



平成17年8月20日(土) 新宿京王プラザホテルに於いて

同期会・クラス会・OB/OG会

記念学年の同期会



15回同期会 H17.8.20 京王プラザホテル



16回同期会 H17.8.20 京王プラザホテル アサヒの間



27回同期会 H17.8.20 新宿野村ビル Living:Bar



28回同期会 H17.8.20 銀座ライオン 新宿センタービル店

同期会 クラス会 OB/OG会



5回B組クラス会 H18.3.31 大勝 敬奇屋福店



5回D組クラス会 H17.9.17 上野池之端 古目



7回A組クラス会 H17.9.26 新宿中村屋本店



14回E組クラス会 H18.1.28 グランドアーク半蔵門



14回F組クラス会 H18.3.18 中野サンブラザ



24回B組クラス会 H17.10.15
中野サンブラザ15Fアクアルーム



35回I組クラス会 H17.7.10 溜池食堂



38回E組クラス会 H17.11.19 無門 新宿店



10回同期会 H17.8.20 新宿ワシントンホテル



ハンドボールOB・OG会 H17.8.28 新宿ヒルトンホテル

井草会援助金制度のご案内

同期会、クラス会、OB・OG会等の会合に対しての援助金制度を設けていますので、どうぞご利用下さい。
ただし、事前申請が必要となります。

制度の概要

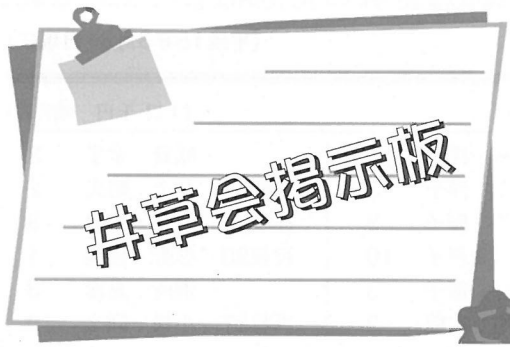
1. 利用人数基準: 同期会30名以上、OB・OG会、恩師を囲む会、クラス会15名以上、65歳以上のクラス会10名以上
2. 利用回数: 1年に1回限り
3. 援助額: 千円/人 援助限度額: クラス会3万円、その他5万円

4. 事前申請: 葉書に目的、人数、実施予定日、幹事名、「援助金希望」と明記し、下記宛に提出【事後申請は不可】

5. 援助金申請手続き: 行事終了後①援助金申請書 ②参加者名簿(氏名住所、電話番号)③参加者全体写真(援助金対象人員全員)④報告書(400字以内)を提出してください。

問合せ・申込み先:

事業委員会(援助金担当者)島田俊明
〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-1-15-307
TEL/FAX 03-5934-0440



2007 同窓会へのお誘い

事業委員会同窓会開催担当 森井 出 (17回E組)
還暦を迎えた方、卒業後30年の節目を迎えた方々などを中心にお迎えして隔年開催してきた「同窓会」も次回をもって一巡することになります。

おかげさまで、毎回たいへんご好評を得ることができ、本部スタッフ一同も「準備の苦勞が報われた気がする」とホッとしています。

特に記念学年の幹事の方々の活動は、時に目をみはることがあり、楽しむこと、遊ぶことにかけての執念とも云える「井草の伝統」は「いくつになっても脈々と生き続けているなあ」と実感する次第です。

今回は平成19年8月25日(土)に、京王プラザホテルで開催する予定です。

記念学年の方はもとより、いままで一度も同窓会に参加したことの無かった方も、ぜひ故郷に帰るつもりで顔を見せてください。

心よりお待ちしております。

秋の井草祭に ぜひお越しください

開催日：9月16日(土)～17日(日)

事業委員会委員長 安田 忠 (21回G組)
懐かしの面影を残す過去の校舎も今年中には取り壊されます。この機会に是非母校を訪ねてみて下さい。

2007同窓会記念学年の方で、同窓会を手伝っていただけの方は、これまでの同窓会の様子も展示してありますので、是非井草祭にご来場ください。

点茶とお菓子を用意してお待ちしております。

耐震補強のため校舎の改修工事が 下記日程で行なわれます。

記

1. 本館(職員室の有る校舎)改築工事
平成18年11月～平成20年3月末まで
(上記期間中はグラウンドにプレハブ校舎を建てる)
2. 体育館・理科棟耐震補強工事
平成18年7月～8月末まで
3. 北校舎(正門入って右側校舎)耐震補強工事
平成19年7月～9月中旬まで

手塚雄二

花月星展

のお知らせ

同窓生の手塚雄二氏(23回B)の展覧会が、4月の東京展、5月の京都展に続き、下記のように各地で開催されます。

- | | | |
|------|----|------------------|
| 横浜展 | 会期 | 9月6日(水)～11日(月) |
| | 会場 | 高島屋横浜店 10階文化ホール |
| 名古屋展 | 会期 | 9月13日(水)～18日(月) |
| | 会場 | JR名古屋タカシマヤ |
| 大阪展 | 会期 | 9月20日(水)～25日(月) |
| | 会場 | 高島屋大阪店 7階グランドホール |

なお、招待券をご希望の方は、井草会事務局または井草会ホームページ(電話・FAX番号・HPアドレスは8P参照)へご連絡ください。

手塚雄二氏 略歴

1971年 井草高校卒業
1979年 第34回春の院展「歌占い」初出品、初入選
1982年 東京芸術大学大学院修士課程日本画専攻終了
2000年 第85回院展に「風雲風神」出品、内閣総理大臣賞受賞
現在 日本美術院同人、評議員、東京芸術大学教授

“編集スタッフ大募集”

お手元にお届けした「井草会報」の編集作業を手伝って下さる方を募集しています。会報委員会は、ここ何年か慢性的な人手不足で四苦八苦しています。特にパソコンを使える方のご協力を心よりお待ちしております。

(会報委員会)

恩師の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡辺 寄喜先生 (昭53～58年 教 頭) 平成17年3月18日
植村 耕司先生 (昭40～57年 社会科) 平成17年4月21日

平成17年度一般寄付金 寄付者名簿

(平成18年3月31日現在)

平成17年度、下記会員からご寄付を頂きました。ありがとうございました。

(1口千円 敬称略)

高女1	石田 京子 8	高校9	山口 直子 3	高校14	松本 洋子 3	原島 幸子 3	
	宇部満寿子 3		渡辺 正義 8	高校15	川添 洋子 3	高校24	井上 晴夫 2
	末永 京子 10		木村 忠正 8		三井 康子 3	高校25	河野 秀之 3
	匿名 20		甘楽美登利 3		林川安伊子 10	高校26	杉野 俊哉 1
高女2	宮川 文子 5		渡辺 節子 3		小野 節子 3		別所 嘉彦 3
高女3	辻 タケ子 3	高校10	関口 素子 1	高校16	石川 勝 3	高校27	小松 隆之 10
高女4	大柴 節子 10		前田 泰子 3	高校17	牛込 仁士 3	高校30	大場 肇 3
	阿部 妙子 10		南部 正光 10		滝沢 政代 3	高校31	藤吉 和彦 3
高女5	三河尻みどり 3		黒田 俊宏 4	高校18	郡司 明郎 3	高校33	中村 一郎 8
高校3	岡田 瑞賀 3	高校11	長田 英春 3	高校19	川勝 文雄 3	高校34	高野 郁人 1
	古屋 靖枝 3	高校12	尾崎 政雄 3	高校20	野崎 暁 1		日野 教子 1
	相沢 智子 3		細野 恭代 3		本山 和夫 8	高校41	匿名 1
	中村 公 3		内藤千与孝 1		村田 直樹 8		吉浦 和孝 3
高校4	中村 京子 3		中林 保彦 3		大山 吉久 3	高校43	岩崎 朱子 1
高校5	阿部 妙子 8		細谷 春来 2		田中 英明 3	高校51	葛城 英彦 2
	原田 道子 1		八百 洋子 1	高校21	吉岡 則子 10		久保 直樹 1
高校7	三村 明敏 8	高校13	堀口 育子 3		町田 康男 3		計 319口
	中島 幸子 3		富岡 和子 8		21回生有志 4		
高校8	木下 敬子 3		竹村 裕 10	高校22	片山 康子 1		
	山崎 良子 1		松前 正子 1	高校23	田中 隆枝 3		

平成17年度母校支援金 寄付者名簿

(平成18年3月31日現在)

下記の方々からご寄付頂きました。心よりお礼申し上げます。なお、3年の予定で始めた母校支援の募金活動は、17年度をもって終了いたしました。

(敬称略)

20,000~	瀬尾 行弘 8B	5,000~	谷 恭子 2A	松井 恵子 56A
	隆野 豊子 1		井上 晴夫 24D	名簿委員会有志
10,000~	桑幡 昌典 旧職		谷 明 7D	1,000未満 宮島 恵子 24A
	平田 恵子 高女4	3,000~	永井 直実 16C	募金箱 27,800
	金沢美保子 3B	1,000~	八代 武之 17C	合計金額 151,000円
	大西 久江 5E		柴田 淑子 7A	
	遠矢 良隆 6A		武田 好永 9E	

母校支援金へのご協力のお礼

同窓会は、平成15年度から重点支援校としての取組みを始めた母校支援のため、3年間毎年50万円、合計150万円の募金額を決め、皆様へ協力を呼びかけてきました。3年に亘った募金活動でしたが、会員の皆様のあたたかな母校愛をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

学校からは、目標に掲げた学力養成と国際交流事業は予想以上の成

果を達成することができたとのうれしい報告がありました。これを受けて、今回の母校支援の募金活動はひとまず終了いたします。

なお、募金の残余金については、今後も重点支援事業の資金として、生徒達のために大切に運用していきたい、そして、今後とも母校の発展を末永く見守っていただきたいと学校より会員の皆様へご挨拶があったことをお伝えいたします。

(広報委員会)

郵便為替：00120-4-84359 井草会事務局 TEL/FAX：0120-066-193
井草会ホームページ：http://www5f.biglobe.ne.jp/~igusa

39号は8ページでお届けいたします。インターネット活用分科会と連携し、より充実した内容をお届けするよう編集委員一同で工夫いたしました。どうぞ皆様の忌憚のない建設的な意見、感想をお寄せ願います。

■ 編集後記 ■

- *最後の校正完了！安堵とちよつぱり不安の入り混じる心境です。(K.N.S)
- *少数精鋭？で何とか頑張りました。次号は、新メンバーが加わってのスタートになるといいなと思っています。(K.N.J)
- *紙面の都合で会報に載せられなかったクラス会・同期会の記事や写真は井草会HPから見てください。(M.N)
- *次回も編集スタッフ一同力をあわせ更によりものを出したいと思ひます。(K.U)